

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和元年 4~6 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通 3 丁目 5 - 1

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	234事業所
2. 回答事業所数	75事業所
3. 回答率	32.0%
4. 業種別内訳	
製造業	6事業所
建設業	9事業所
卸売業	5事業所
小売業	19事業所
サービス業	36事業所
合計	75事業所

### 5. 実施時期

令和元年 8月

### 6. 調査対象期間

令和元年 4月～6月（第1四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（DI値の集計）

#### ※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$DI = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

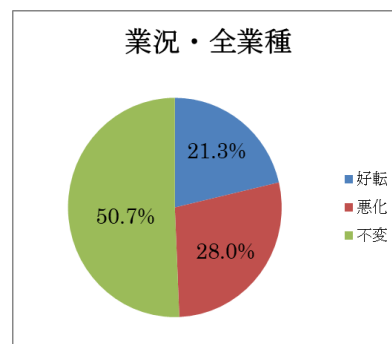
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

## II. 概況

### 1. 全業種の業況

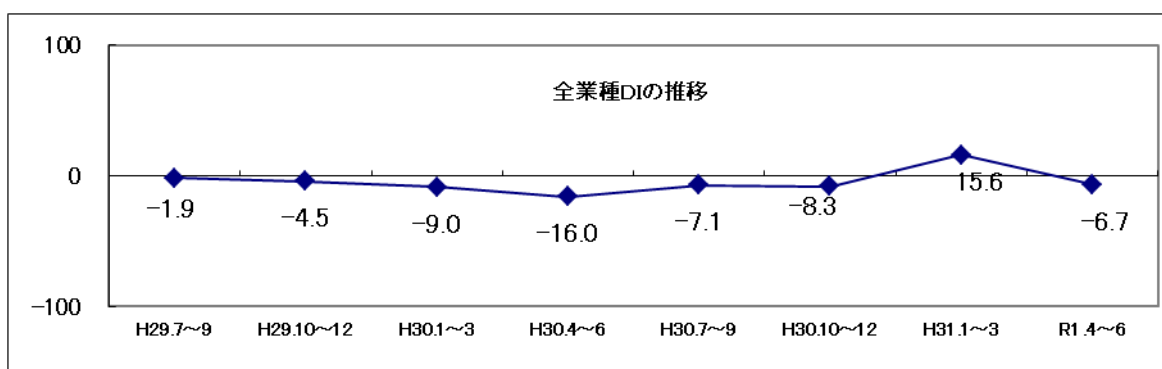
全業種の業況判断は、前年同期比のDI値は▲6.7ポイント。業況が好転したと回答した事業所は21.3%、悪化したと回答した事業所が28.0%、変わらないと回答した事業所は50.7%だった。

4～6月は、製造業・小売業・サービス業では人手不足による人件費の高騰、仕入価格の上昇等により業況は悪化。建設業では消費税増税前の駆け込み需要の増加などにより業況が改善。



来期見通し(7～9月)については、製造業・建設業・卸売業では仕入価格や輸送費の上昇、個人消費の冷え込みなどにより業況は悪化の見通し。小売業・サービス業では消費税増税前の駆け込み需要への期待や季節的要因、などにより業況は改善の見通し

	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	H31.4～6	R1.7～9 見通し
全業種	▲7.1	▲8.3	15.6	▲6.7	▲2.7
製造業	▲16.7	0.0	0.0	▲33.3	▲50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	44.4	22.2
卸売業	▲28.6	▲50.0	20.0	20.0	▲40.0
小売業	▲23.1	18.2	27.3	▲26.3	5.3
サービス業	▲2.9	▲14.8	15.6	▲8.3	0.0



## 2. 業種別の概要

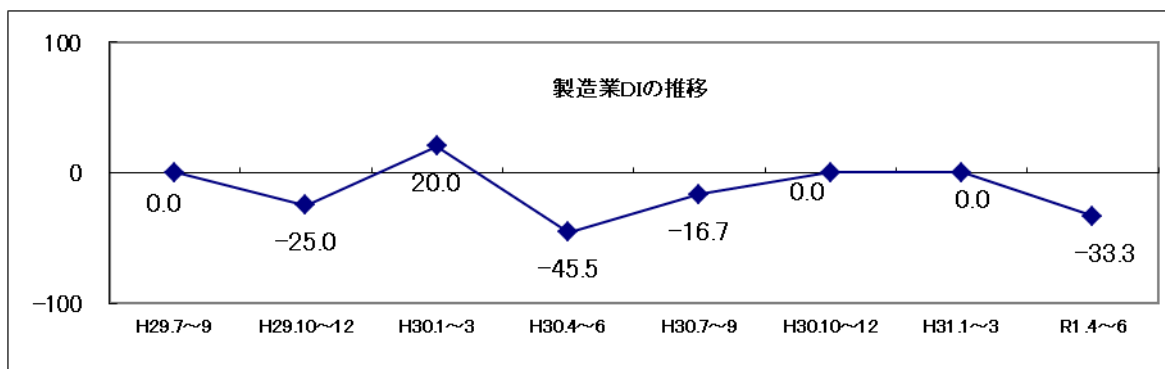
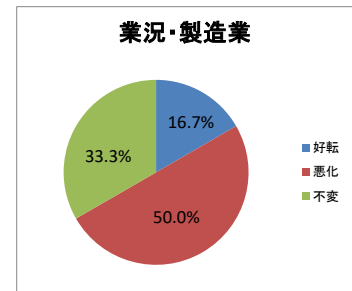
### ① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.7%、悪化したと回答した事業所が50.0%、変わらないと回答した事業所が33.3%だった。

製造業からは「仕入れ価格が次々値上げしてくる。」（調味料製造業）のほか、「海水温の上昇や乱獲により魚介類全般の水揚げが減少、水揚げ時期も数か月遅れ気味で買い付け価格も上昇している。」（水産加工業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しD I値は▲50.0ポイントで、悪化する見通しとなっている。



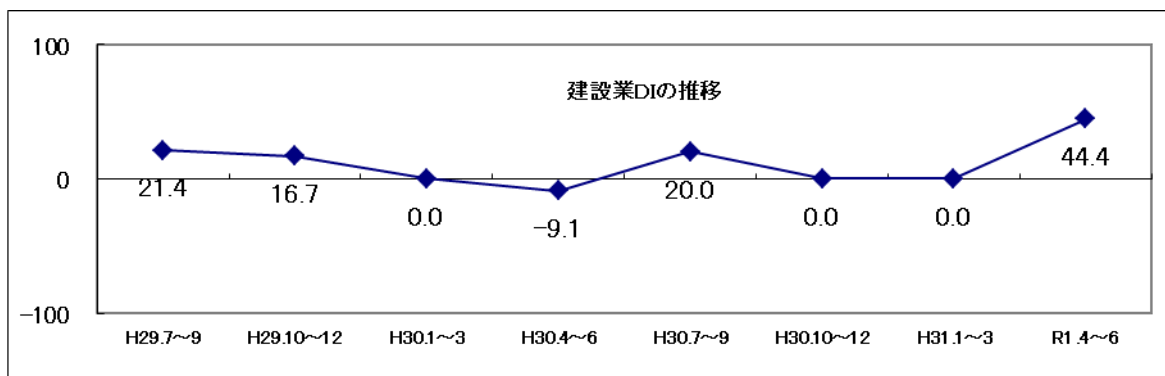
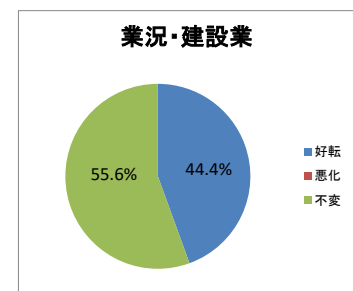
### ② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I値が44.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は44.4%、悪化したと回答した事業所は0.0%、変わらないと回答した事業所は55.6%だった。

建設業からは、「今年に入ってから新規客も増え好転に向かっている」（住宅等建設業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しのD I値は、22.2ポイントで、悪化する見通しとなっている。



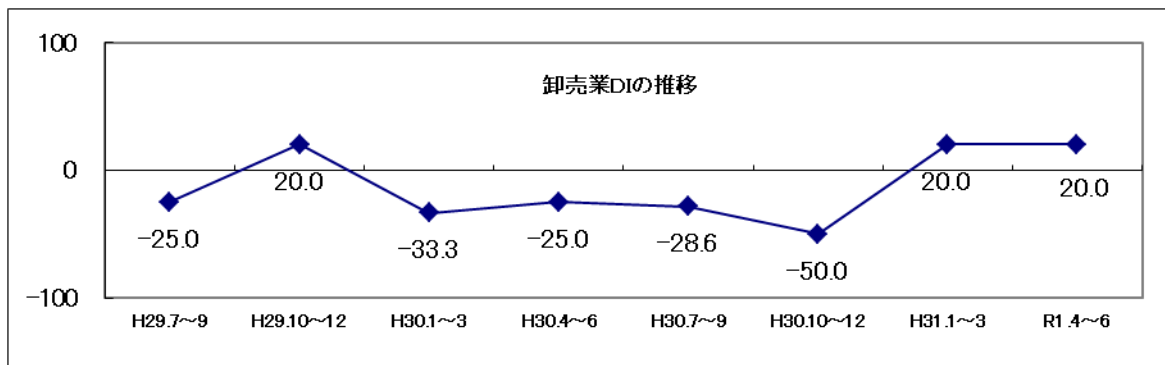
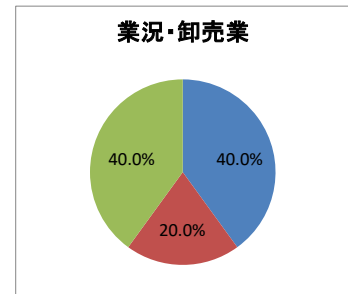
③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は40.0%、悪化したと回答した事業所が20.0%、変わらないと回答した事業所は40.0%だった。

卸売業からは、「消費税増税前の駆け込み需要が少なく平常の売上で推移している」(木材・住宅機器卸売業)等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲40.0ポイントで、悪化する見通しとなっている。



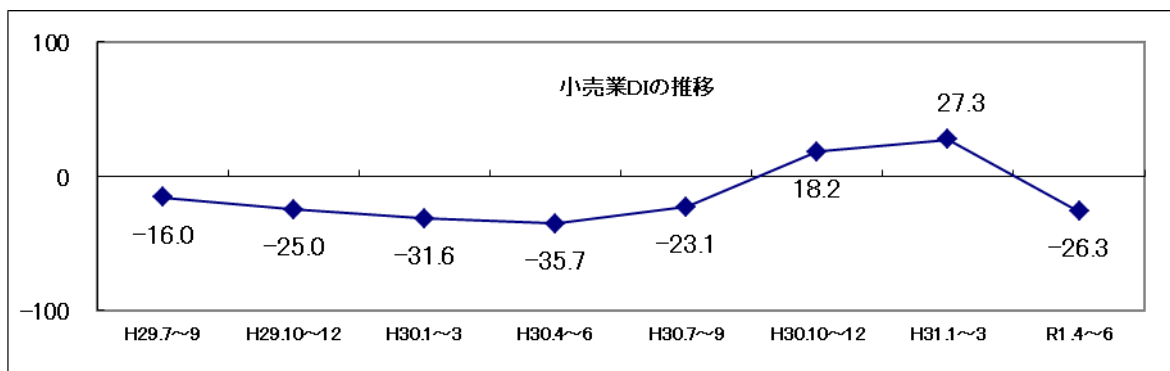
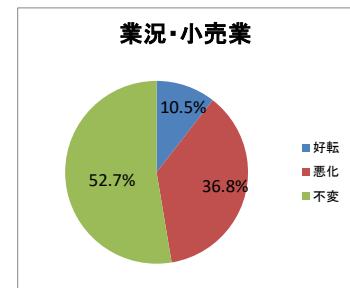
④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲26.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は10.5%、悪化したと回答した事業所は36.8%、変わらないと回答した事業所は52.7%だった。

小売業からは、「駅が新しくなり人の流れがますます減少した。」(製菓業)や、「大型店やネット販売に押されている。」(家電製品小売業)等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、5.3ポイントで、改善する見通しとなっている。



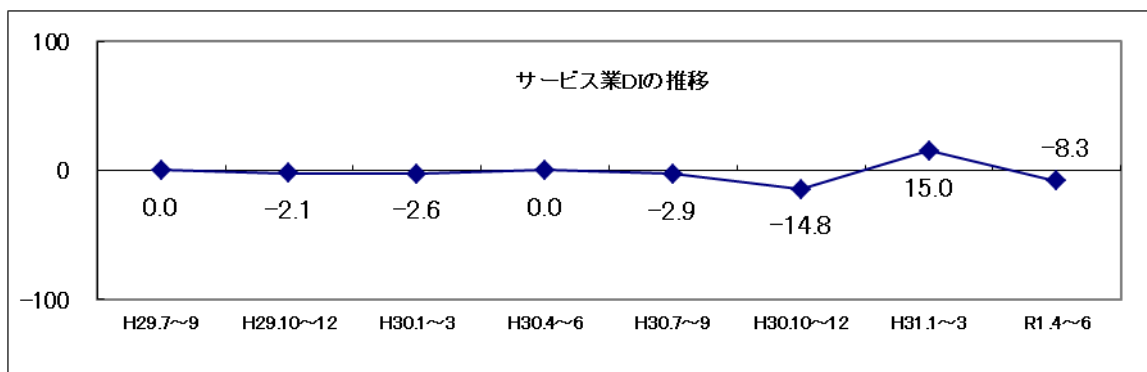
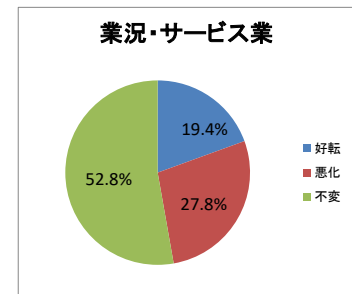
⑤ サービス業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲8.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は19.4%、悪化したと回答した事業所は27.8%、変わらないと回答した事業所は52.8%だった。

サービス業からは、「客数が増え売上は上がっているが、原材料費や運賃が上がっているため利益に反映しない」（飲食業）、「新たに特許を取得してから個人宅からの調査依頼が急増している」（上下水道コンサルタント業）等が業況を示す意見として挙げられている。

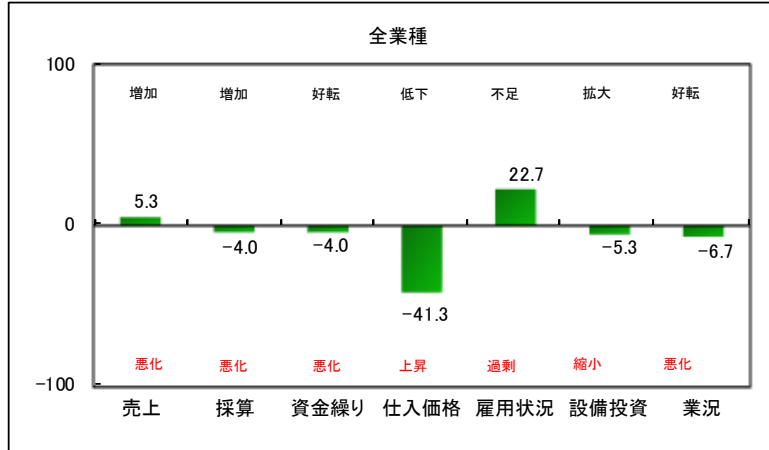
来期見通しD I 値は、0.0ポイントで、改善する見通しとなっている。



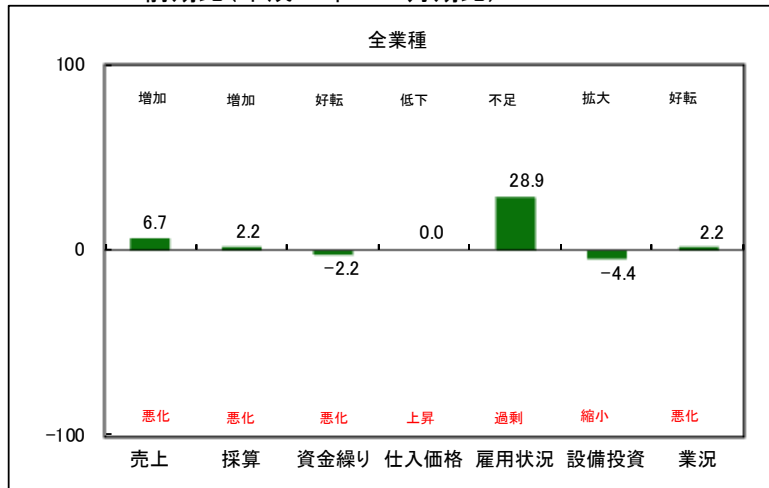
## 市内景気動向

### 全業種

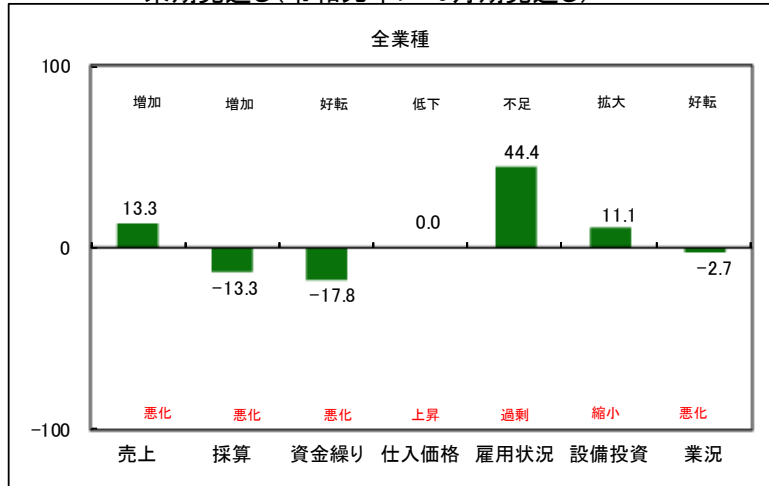
前年同期期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



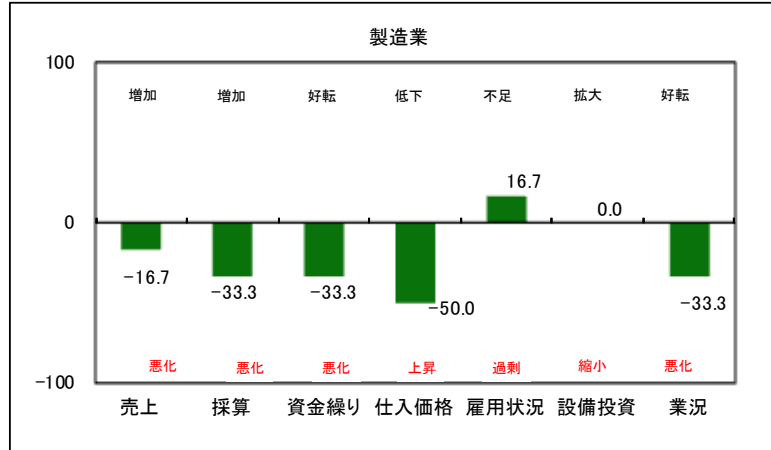
来期見通し(令和元年7～9月期見通し)



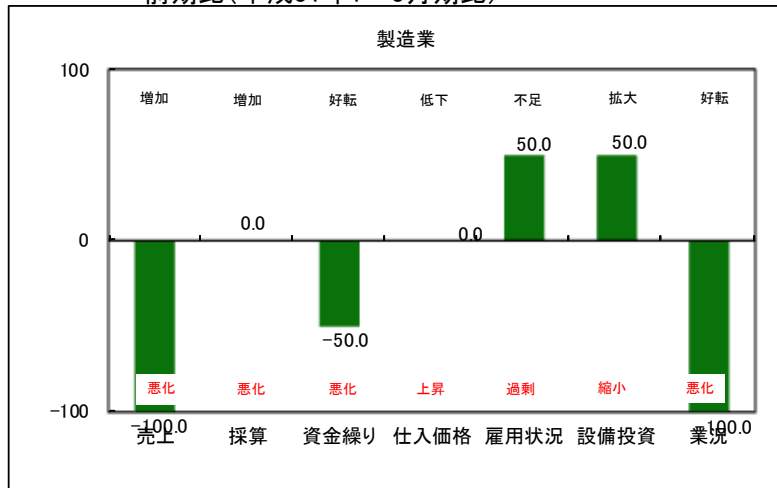
## 業種別景気動向

### 製造業

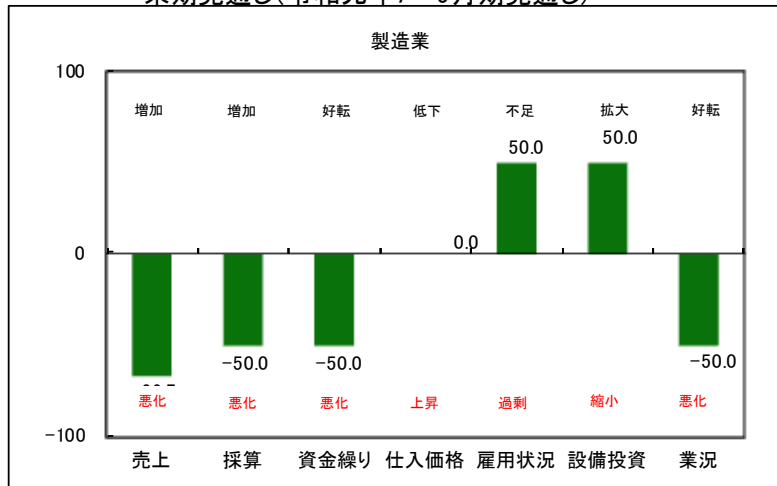
前年同期期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



来期見通し(令和元年7～9月期見通し)

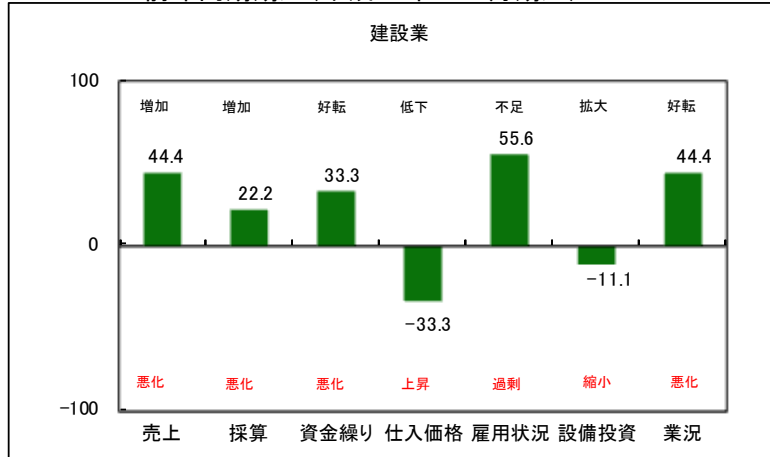




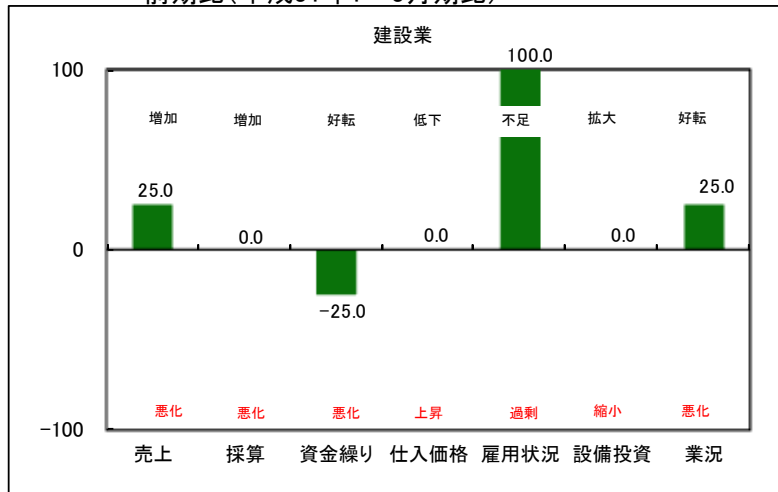
## 業種別景気動向

### 建設業

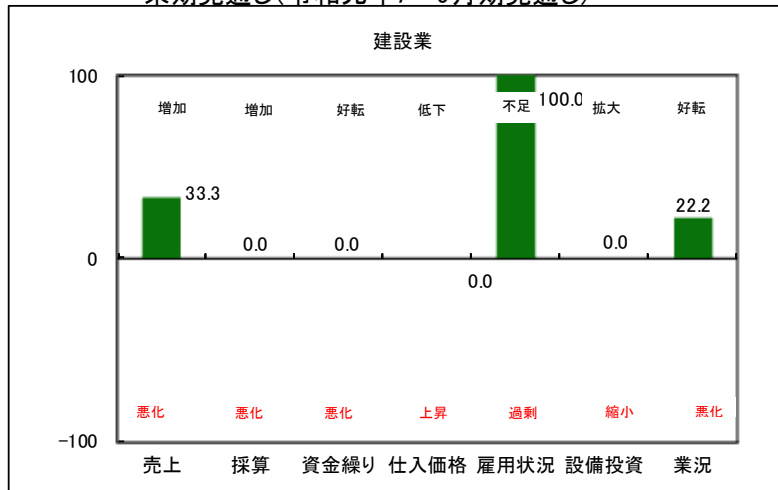
前年同期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



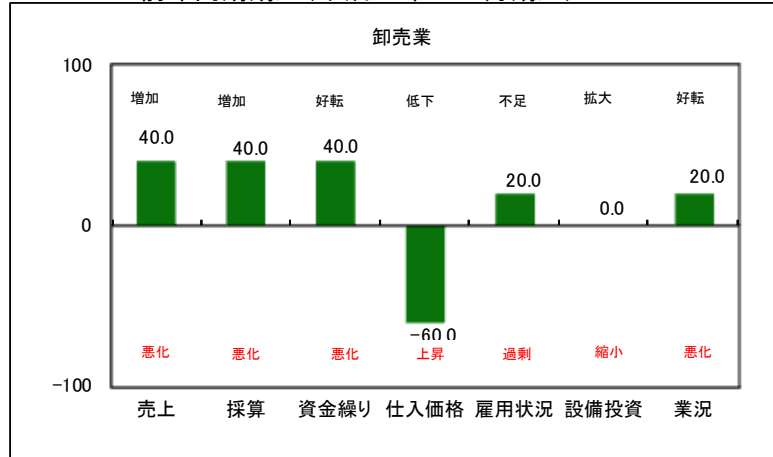
来期見通し(令和元年7～9月期見通し)



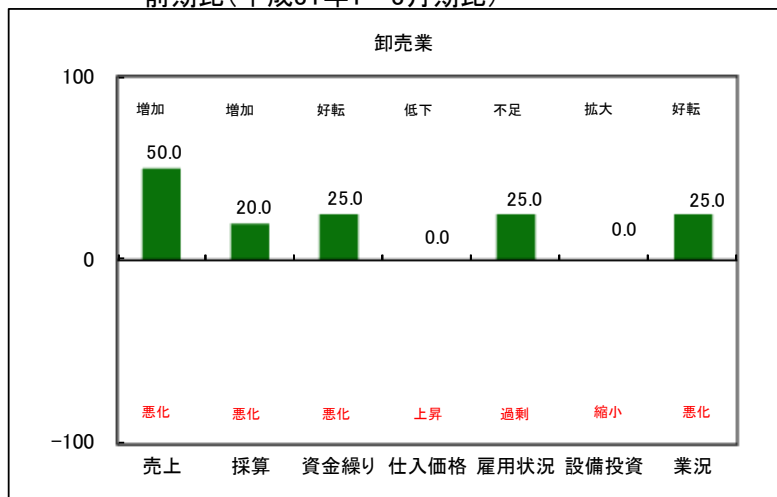
## 業種別景気動向

### 卸売業

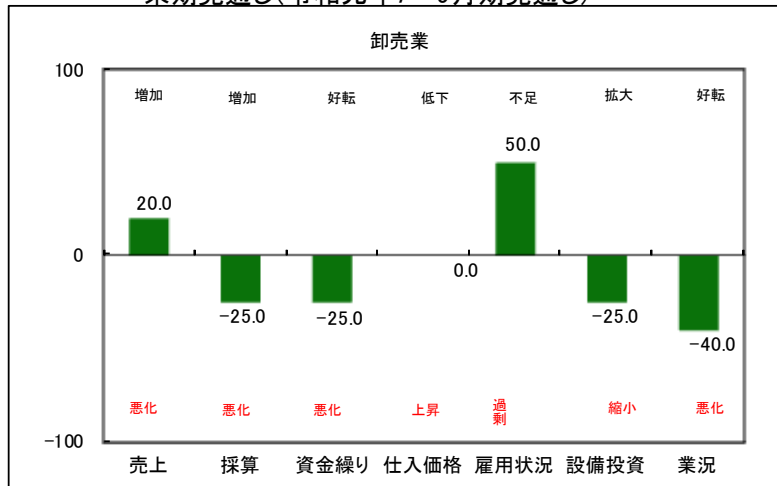
前年同期期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



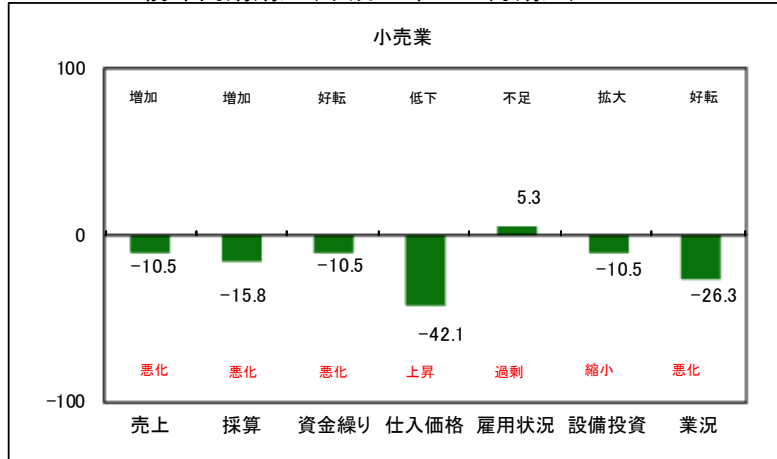
来期見通し(令和元年7～9月期見通し)



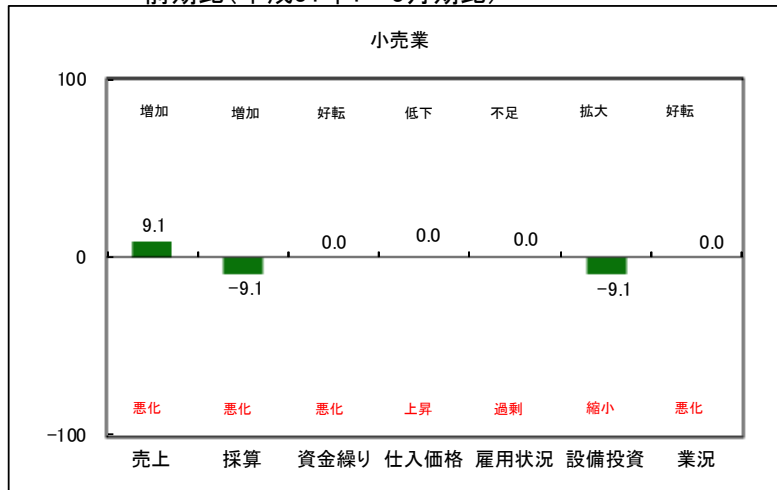
## 業種別景気動向

### 小売業

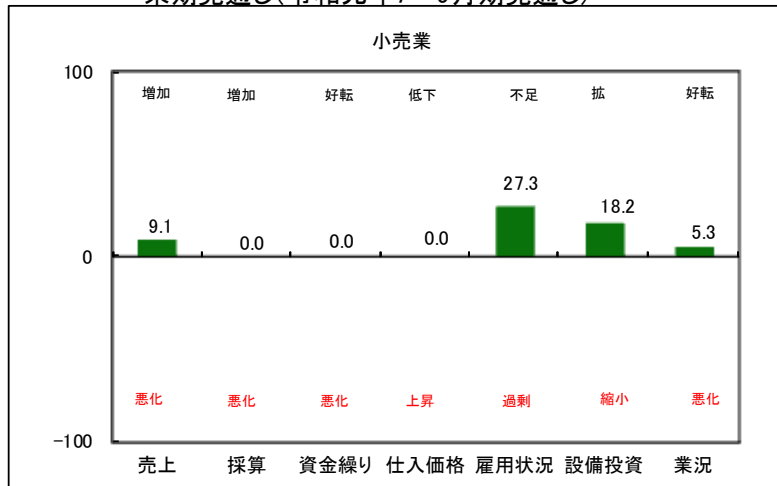
前年同期期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



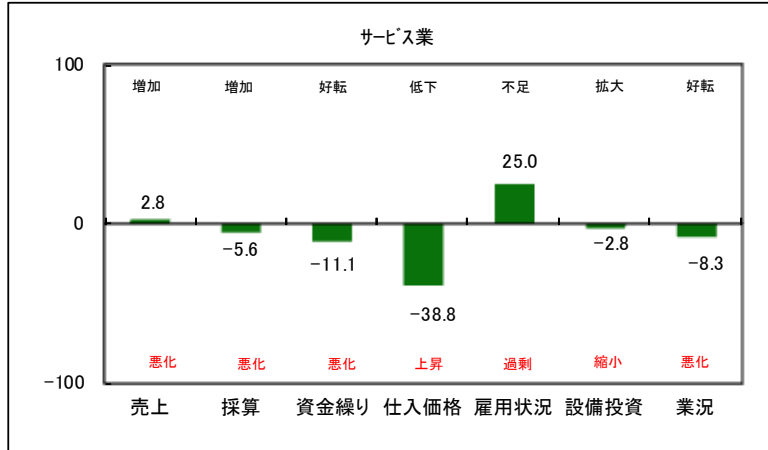
来期見通し(令和元年7～9月期見通し)



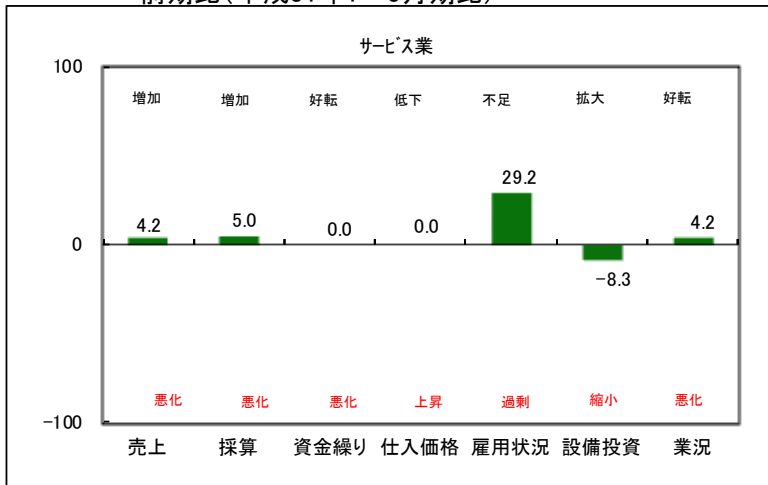
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期期比(平成30年4～6月期比)



前期比(平成31年1～3月期比)



来期見通し(令和元年7～9月期見通し)

